

事務事業名	御殿場のまつり支援事業	整理番号	43303-010
所管	商工観光課 観光スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成12年度～平成年度	根拠法令・要綱等	
基本計画における位置付け	基本政策 4-3 観光・集客による産業の活性化 政策 4-3-3 観光産業と他の産業などとの連携	関連政策	4-3-1 観光・集客体制の強化

事務事業の内容

目的 (何のために)	経済活性化と観光施策の充実を図るため。
対象 (誰・何を)	市民・観光客
手段 (どのようなやり方で)	まつりを運営する各実行委員会を助成・支援していく。
成果 (どのような状態にしたいか)	観光客の増加及び滞留化が図られる。
事務事業の背景・住民の意向	桜まつり、花火大会等新たなまつりへの多様な期待に応える。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成18年度	観客数 御殿場桜まつり18,000人、富士山太鼓まつり17,000人、歩行者天国50,000人、よさこい御殿場18,000人、御殿場高原花火大会15,000人、合計118,000人。	<p>投入コスト(千円)</p> <p>18年度 19年度 20年度</p>
平成19年度	観客数 御殿場桜まつり13,500人、富士山太鼓まつり19,000人、歩行者天国60,000人、よさこい御殿場10,000人、御殿場高原花火大会20,000人、合計122,500人。	
平成20年度	観客数 御殿場桜まつり40,000人、富士山太鼓まつり7,000人、歩行者天国65,000人、よさこい御殿場9,000人、御殿場高原花火大会悪天候のため中止、合計121,000人。	

評価指標

<p>観客数(人)</p> <p>H18 H19 H20 H0目標</p>	<p>1人当たり開催経費(円)</p> <p>H18 H19 H20 H0目標</p>	<p>H18 H19 H20 H0目標</p>
---------------------------------------	---------------------------------------------	-------------------------

事務事業の評価

担当部署の評価		コメント	今後の方向性
観点別評価	必要性	伝統になりつつある祭り、新しい祭り、市民を中心とした祭りなど、さまざまな祭りを行い、市民を中心に喜ばれている。	継続
	有効性		
	効率性		
総合評価	B		

改革プラン

平成21年度からの対応	・よさこい御殿場について実施内容の見直しを行い交付金の削減を図った。 ・各まつりの効率的な実施につき、引き続き検討する。
平成22年度以降の対応	
改革により予想される成果	効果的で、コストを削減した事業の実施

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	・富士山太鼓まつり、よさこい御殿場は、同一会場での実施や隔年実施等、事業の効率化を図り、事業費を縮減する。 ・御殿場高原花火大会をはじめとするその他のまつりについては、隔年実施等、方向性を再検討する。 ・観光協会や商工会等の関係団体と調整し、任せられるものは任せる。
仕分け理由	
イベントを精査し、隔年実施等による事業縮小や共同開催等、経費縮減を図る。	